

第62回学長選考・監察会議議事要旨

日 時 令和5年5月30日（火） 12時55分～14時30分

場 所 本部4階大会議室

出席者 学外委員：佐伯委員，綾田委員，金子委員，神余委員，西原委員，藤岡委員
学内委員：野崎委員，三野委員，長山委員，三木委員，末永委員，秋光委員，
原委員

欠席者 学外委員：田中委員
学内委員：なし

陪席者 根ヶ山監事

1. 審議事項

(1) 学長候補者の選考について

総務課長から、参考資料1～5に基づき学長候補者の選考方法等について説明があり、続けて、委員による学長候補適任者1名の所信聴取が行われた。その後、委員による意見交換が行われた。

続いて、意向聴取等管理委員会委員長から、議長あてに学長候補適任者意向聴取結果が提出され、総務課長により同聴取結果の開封及び報告が行われ、続けて、再度委員による意見交換が行われた。

その後、議長から、学長候補者決定に際し、委員の意向を確認する方法について照会があり、審議の結果、投票に依らず委員の総意により学長候補者を決定することが承認された。

続けて、議長から、学長選考・監察会議委員の総意として、上田夏生氏を次期学長候補者として決定したい旨説明があり、審議の結果、全会一致により承認された。

(2) 選考結果の公示等について

総務課長から、審議資料1～2及び参考資料6に基づき、公示案、選考結果の公表案、記者会見の概要について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、選考理由については、以下のとおりとすることが承認された。

(選考理由)

学長選考・監察会議は、学長候補適任者である上田夏生氏に対して面接を行い、所信を聴取し、意向聴取の結果を参考として審議した結果、「同氏は、学長候補者選考基準

に照らして、同基準に掲げる4つの資質と能力を十分有している」と判断した。

同氏は、長年にわたる教育・研究経験に加えて、医学部運営や大学運営に係る要職を歴任し、医学部はもとより大学全体の機能強化に大きく貢献してきた。

特に、医学部副学部長、医学部長として、平成30年には全国の国立大学医学部で初めてとなる臨床心理学科を開設し、続いて、令和2年には大学院医学系研究科臨床心理学専攻を開設、令和4年には大学院医学系研究科看護学専攻（博士後期課程）を開設するなど、優れた人材の輩出に尽力してきた。

また、最近では、教育担当副理事として、DRI教育（注）の拡充及び学修成果の可視化など全学的な教育機能の向上に取り組むなど、優れた経験とリーダーシップを発揮して、教育改革の先駆的役割を果たしてきた。

（注）イノベーションを創出する「デザイン思考（D）」、レジリエンスやセキュリティに資する「リスクマネジメント（R）」、専門分野を超えた数理情報基礎力「インフォマティクス（I）」の3つを統合した能力を育成すること。

今後、国立大学を取り巻く環境がますます厳しくなることが予測される中、香川大学の理念である『世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する』大学であり続けるためには、香川大学として、これまで進めてきた大学改革を継承し、社会状況の変化に先見のかつ着実に対応する革新を成し遂げていくことが、次期学長に求められる重要な使命であることから、同氏を最適任者として認め、次期学長候補者として決定した。

2. 報告事項

なし

3. その他

なし

以上